

JAセラサ川崎 機関誌

CERESA

3月号

2020 March

No.270

特集

J A運動を支える女性部・青壮年部

次号より誌面の一部をリニューアルいたします

<https://www.jaceresa.or.jp/>

Contents

特集 J A運動を支える女性部・青壮年部	3
PICK UP	8
川崎探検隊 万福寺を歩く	12
逸 私の好きなこと 使いやすさを極めるカスタムナイフ 川崎区・青山 勝さん	14
ひゅうまん 地元の伝統芸能を守り継ぐ 宮前区・小金井 睦雄さん	15
POWER全開! わが家のIT革命 高津区・森 真梨さん	16
食&農 フキ	17
農作業ノート まだ泥だらけのマルチ剥ぎしてますか? 営農技術顧問・吉田 敏政	18
セレサ通信 & 運勢	19
mail box & クロスワードパズル	20
JAからのお知らせ & 教えてJA!Q&A広場	21
インフォメーション	22
いきいきファーマーズ 宮前区・川野 昇さん 麻生区・越畑 政治さん 麻生区・宮田 幸治さん 高津区・西澤 達男さん セレサモスからのお知らせ	23
DISH UP! わが家のオムレツ 幸区・石井 房子さん	24

4月の行事予定

21日 (火) 定例理事会

29日 (水) 昭和の日

【決算棚卸し休業のお知らせ】

経済センター・パーシモン

3月31日(火) 正午～休業

なお、セレサモス宮前店園芸館は通常営業いたします。

※日程等は変更されることがあります

今月の
表紙



《イチゴの収穫》

麻生区片平 安藤 圭太さん

2年前に就農した安藤さんは、麻生区早野にある15㎡の温室で、紅ほっぺや章姫、とちおとめなど4品種のイチゴを栽培しています。

安藤さんは都市農業の優位性について「地方から運ばれてくるイチゴよりも完熟の状態で収穫ができる」と話し、毎日とれたてのイチゴを、直売や近隣の洋菓子店などへ出荷しています。

また、2月から始まった摘み取り体験では、来場者が1日あたり100人を超える日もあり、初年度ながら既にリピーターがつくほどの人気ぶり。「地域の人たちにおいしいイチゴを届けたい」と、今後の栽培に意欲を燃やしています。



女性の力を集結
**JAセレサ川崎
女性部**

JA運動を支える 女性部・青壮年部

JAにはJA運動を支える業態別組織や目的別組織、助け合い組織といったさまざまな組合員組織があります。今号では、女性ならではの感性や考えを活かして活躍する「女性部」と、農業と地域の後継者として活躍する「青壮年部」の活動を紹介します。



若手の力で
川崎の農業を盛り上げる
**JAセレサ川崎
青壮年部**

食農教育活動

市内産野菜を使った料理教室や、収穫イベントなどを開き、地域の子どもから大人まで幅広い世代に食と農の大切さを伝えています。



日吉支部の収穫体験イベントの様子

地区の親子料理教室では部員が講師を務め、参加者の親子と一緒に市内産の野菜を使った料理を作ります。中には野菜が苦手な子どももいますが、自分で作った料理は残さずおいしそうに食べています。また、次世代家族との交流会を兼ねた収穫イベントでは、参加者が収穫した野菜で部員が料理を振る舞い、とれたて野菜のおいしさとともに食を支える農業の大変さや楽しさを伝えています。



稲田地区の親子料理教室の様子



県女性協活動への参加



体験発表する秋本さん

県内J A女性組織の代表が意見を交わす「いきいきレディース交流会」の他、「女性部員のJ A運営参画のための研修会」などに参加し、さらなる活躍の推進をはかっています。

毎年開催される県の「生活文化活動体験発表会」では、部員の代表者が個々の活躍ぶりや日常生活における女性部とのつながりなどを紹介。昨年12月には橘支部の秋本すみ枝さんが、一家の大黒柱として家族を守る決意と、直売所に来てくれる地域のお客さんや女性部の仲間への感謝の気持ちを語りました。

その他の活動

個々の活動の場として、統括支店を中心に、コーラスやフラダンスグループなどの活動を行い、生活に潤いと楽しみをもたらしています。



川崎南支部コーラスグループ



菅支部と生田支部のフラダンスグループ交流会



◆女性部 小林 あさ子 部長からのメッセージ

女性部には幅広い年代の部員が所属し、若い方は先輩方の経験を参考に、先輩方は若い方に刺激を受けながら良い関係を築いて楽しく活動しています。女性部の活動で心に残っていることは、小学生が田植えをして育てたもち米の収穫祭を青壮年部の方々と共に手伝い、お餅を児童と一緒に作って食べたことです。田植えや稲刈りを経験した小学生からは「農家さんの大変さが分かった」、「食べ物を大切にしようと思った」などの声を聞くことができ、食と農の大切さを伝えることができたのではと感じました。

また、女性部の活動は「SDGs」にも重なる部分が多くある中で、今後は女性部大会や総会など部員が多く集まる場で、各家庭で消費しきれない食品を集めて必要としている人にお裾分けする「フードドライブ」の活動を始めたいと思っています。

近年、部員数が減少傾向ではありますが、今後も皆さんにぜひ「参加してみたい」「やってみたい」と思ってもらえるような魅力的な活動を展開し、少しずつ仲間を増やしながら日々の暮らしをより豊かに楽しく過ごせるよう取り組んでいきたいです。



J A セレサ川崎女性部

J A セレサ川崎女性部には、令和2年1月1日現在、2,322人が所属しています。女性部では、女性の声をJ A運動に反映させることで、暮らしと健康を守り、明るく豊かな生活を築こうと、年間を通して「農業」と「食」、「地域」をつなぐさまざまな活動に取り組んでいます。女性部の活動は「SDGs」の17の目標に関わる内容も多くあるため、以下に関係する「SDGs」のロゴを添えて一例を紹介します。

組織活動



女性部リーダーとJ A役員との語る会の様子

年7回の役員会をはじめ、各支部役員会や研修会、女性部大会・家の光大会などで情報の共有や意見交換を行い、女性部の運営基盤をつくっています。

今年1月の「女性部リーダーとJ A役員との語る会」では、「女性部活動における課題と解決策」をテーマに話し合いを進め、女性部組織の在り方や後継者問題などについて活発に意見を交わしました。



健康管理福祉活動

健康大学など健康づくりについて学ぶ講座や、各地区で開催されるウォーキングなどの健康イベントへの参加を通じて、自身や家族の健康を支えています。

毎年秋には、全支部合同でレクリエーション大会を開催。各支部対抗の聖火リレーやバケツリレーなどの競技の他、最後に参加者全員で輪踊りをし、支部の枠を超えて絆を深めています。



レクリエーション大会での輪踊り

教育文化活動



統一旅行。桜島を前に記念撮影

旅行や講習会を通じて文化的な教養を高めるとともに部員間の交流をはかり、心豊かな生活の実現に努めています。

昨年6月の統一旅行では、桜島やJ A鹿児島県経済連が運営する「おいどん市場」、射楯兵主神社などを2泊3日で巡り、親睦を深めました。



消費生活活動

消費生活活動の一環で、リサイクル・エコライフ運動等環境保全活動を行い、女性部が中心となってペットボトルキャップを回収しています。平成21年10月から昨年未までの期間に合計9,876,658個が集まり、NPO法人を通じて11,484人分のポリオワクチンとして、世界の子どもたちに届けられています。

また、支部によっては地域で生産されたシクラメンやパンジーのとりまとめを行う他、Aコープ商品研修会を開催。メーカーの担当者から商品の安全性や活用法などを学び、併せて即売会も行っています。



橘支店でのAコープ商品即売会の様子



スポーツ文化活動



親睦交流会でのボウリング大会

また、毎年行われる「JA青年の主張・活動実績発表大会」では、毎年部員の代表が、農業への思いや組織活動について発表しています。昨年は、宮前支部の篠田隆文さんが、自身の経験を基に体験型農園の可能性をJAへの提案を交えながら熱弁。県大会を勝ち抜き、関東甲信越地区大会に県代表として出場しました。



関東甲信越地区大会で発表する篠田さん

関係組織活動への参加

毎年、県下JA青壮年部組織・盟友の交流と親睦を深めるとともに組織の育成・強化をはかるため、ソフトボール大会に参加しています。

また、3年に1度開催される、神奈川県JA青壮年部大会では、県下の青壮年部の盟友約300人が出席し、3年間で取り組むべき具体的な活動目標を設定。将来にわたり安心して農業経営が行える農業政策・税制の確立や地域貢献活動、組織活動の活性化等の取り組みについて確認しています。



ソフトボール大会での集合写真

◆青壮年部 横山 和夫 委員長からのメッセージ

青壮年部には、野菜、果樹、花き、植木などさまざまな業種の生産者が所属しており、青壮年部の活動は多業種の若手生産者の親睦を深める場となっています。

川崎の農業は、消費者がすぐ近くにいるという反面、相続税や住宅地の中にある畑での農業散布など、都市農業ならではの課題も多くあります。そうした中でも、青壮年部員は情報交換を行いながら高い意識をもって常に課題と向き合い、農業に取り組んでいます。

今後は、農業技術の向上を目指して青壮年部の活動の中に勉強会や学習会を増やすとともに、互いの農業技術などの情報共有を活発に行い、県下の青壮年部の盟友とも交流を深めながら都市農業の振興に努めていきたいです。



J Aセレサ川崎青壮年部

J Aセレサ川崎青壮年部には、令和2年1月1日現在、203人が所属しています。

川崎の農業と地域を支えるとともに、J Aの基盤組織として、斬新な提案と行動力を持って最前線に立ち、食農教育活動や組織学習活動、農政運動を展開し、部員相互の親睦と交流を深めています。以下にその取り組みを紹介します。

組織活動



活発な意見交換が行われるリーダーフォーラム(昨年度の様子)

年に1度開催するリーダーフォーラムでは、J Aの役職員と青壮年部の代表者が活発に意見を交わし、農業の現状を説明するとともにJ Aに対する要望など情報の共有をはかり、都市農業の振興に向けた取り組みを確認しています。

◇昨年度出された意見の中で実行されたこと(例)

要望：加工品会社と連携して生産物のロスをなくし、所得向上につなげてほしい。

対応：昨年、気候の関係で多くの梨がみつ症になった際に、セレサモス出荷者を対象にセレサモスがこれらの梨を買い取り、加工業者に仲介販売しました。

また、持続可能な力強い農業を実現する指針を明確にするため、青壮年部の行動指針となる「ポリシーブック」を作成し活用しています。ポリシーブックは、①税金と農業、②環境問題、③後継者問題、④農業経営、⑤有害鳥獣問題、⑥組織活動についての6つの章で構成されており、それぞれの現状と個人・青壮年部として取り組むこと、行政等へ要請することが明記されています。

食農教育活動

毎年、J A新採用職員の農業体験を受け入れ、受け入れ先では年間を通じて4回ほどの実習を実施。新採用職員が農業や組合員を身近に感じ、J A職員としての意識を培う重要な機会となっています。



向丘支部が行う枝豆教室の様子

また、向丘支部では、農業体験イベントとして「じゃがいも学校」(枝豆教室)(大根教室)を開校し、種まきから収穫まで一連の農作業を体験してもらうことで、市民に農業を身近に感じてもらうとともに、農業の面白さや大切さを伝えています。



稲田支部の新採用職員農業体験



菅支部の新採用職員農業体験

来店者数 400万人を達成



400万人目の来店者に記念品を渡す原組合長

セレスモス麻生店は2月27日、オープンから11年10か月で累計来店者数400万人を達成し、記念イベントを行いました。当日は、400万人目と前後の来店者に原修一組合長が花束と地場産のイチゴを贈りました。400万人目の来店者となった目黒区の上田幸一さんは「週に1度、セレスモスで買い物しています。新鮮でおいしいので、これからも買いに来ます」と笑顔で話しました。

また、同店では2月27日から3月8日にかけて早春フェアを開催。Aコープ商品の割引や「サンキューおかき」などを販売し、多くの来店者でにぎわいました。

最先端の試験が スタート



光触媒を塗布している様子

麻生区早野にあるJ Aの研究圃場では、毎年話題の品種などを職員が実際に栽培しています。栽培結果は、地域農業振興大会で組合員へ報告するなど、都市農業振興のための技術的拠点として機能しています。

今回、同圃場で、新たにビニールハウスを設置し、「光触媒」に関する試験を実施します。これは、東京理科大学と連携した取り組みとして、親水性効果があり有機物の防汚・抗菌効果を持つ光触媒の性質が、作物やハウスにどのような影響をもたらすかを検証するものです。光触媒の農業利用は全国的にも事例が少なく、先進的な取り組みとして各所から注目を集めています。

ピンクに色づく ハナモモを贈る



福田市長にハナモモを贈呈する名古屋支部長

花卉部馬絹支部は2月26日、川崎市役所を訪れ、桃の節句を前にハナモモを福田紀彦市長に贈呈しました。

当日は、名古屋徹支部長ら3人の生産者と森安男副組合長が訪問。高さ17mを超える大きなハナモモとサンシュユの花束を市長へ手渡ししました。ハナモモは「馬絹の花桃」として「かわさき農産物ブランド品」に登録されています。

名古屋支部長は「暖冬の影響で例年より早い開花でしたが、上々の出来です」と話し、福田市長は「すぐ立派なハナモモ。早速市庁舎の入り口に飾らせてもらいます」と笑顔を見せました。

保存会が 柿の木を植え替え



柿の木を植え替えた柿生禅寺丸柿保存会の会員ら

柿生禅寺丸柿保存会のメンバーらが2月3日、麻生区役所にある禅寺丸柿の木の植え替え作業を行いました。

今まで植えられていた木は、同保存会が平成24年に麻生区制30周年の記念事業として同区役所に植えたもの。昨年、台風15号・19号の影響により根元から折れてしまったため、同保存会の飯草康男会長と宇津木裕副会長、長瀬敏之副会長らが、力を合わせて植え替えました。

飯草会長は「禅寺丸柿の木が麻生区の木に制定されていることを多くの人に知ってもらい、柿の歴史とともに後世に伝えていければ」と期待を込めました。

直売所の販売力強化 に向けた展示会

JJAは2月5日、モスビーホー
ルで農業所得向上に向けた種苗
展示会を行い、生産者ら51人が
来場しました。

当日は、(株)サカタのタネやパイ
オニアエコサイエンス(株)などの種苗
メーカーが、自社のブーンスにチラ
シや試食用のトマトなどを用意。
各メーカーの担当者が、これから
の時期に おすすめの品種の紹介
をした他、生産者との個別相談
を行いました。

来場者は「各社の特色やは
やりの品種などが分かったので、
今後の参考にしたい」と話しま
した。



メーカーの担当者と話す来場者

見て・食べて 「かわさきぞだち」を応援

准組合員を対象とした「食べて
知って地元の野菜!かわさきぞ
だち応援バスツアー」を2月20日
に開催し、38人が参加しました。

はじめに相模原市の(株)日本フー
ドエコロジーセンターで、廃棄
される食品問題に取り組む工場
を見学。担当者から工場内に集
められた大量の野菜やパンなど
が、豚のリキッド発酵飼料にな
る工程などの説明を受けました。

見学後は、川崎市内農産物を使
ったランチを堪能。新鮮な野菜の
サラダバーが人気を集めていまし
た。その後、セレスモス麻生店と近
くのイチゴ生産者のハウスにも立
ち寄り、市内産農産物の買い物を
満喫しました。参加者は「食品ロ
スを減らすためにできることを
考えていきたい」と話しました。



工場を見学する参加者

役員がイチゴ生産者を視察

原修一組合長ら役員5人は2
月14日、宮前区の三田和弥さん
と麻生区の安藤圭太さんのイチ
ゴの栽培施設を視察しました。

川崎市内では少しずつイチゴ
生産者が増え、現在は10軒と
なっています。今回視察した2
軒は、今シーズンからイチゴの
高設栽培を始め、三田さんは直
売、安藤さんは直売と摘み取り
体験をメインにしています。

原組合長らは、品種の特徴の
違いなどの説明を受けながらハ
ウス内を見て回り「これからたく

果樹の栽培技術を学ぶ

果樹栽培講習会を2月19日、
多摩区の市農業技術支援センター
で開き、53人が参加しました。

前半は、片木新作営農技術顧
問が、ミカンの整枝剪定や病害
虫防除などについて説明。後半は、
同センター内の畑で、実際に枝の
剪定作業を見せながら「剪定時
に枯れている枝はなるべく切つて」
などポイントを伝えました。

受講者は真剣にメモや写真を
撮るなど、技術向上に意欲を見
せていました。



片木顧問の講習を受ける参加者



三田さんからイチゴの説明を聞く原組合長ら役員

さんの川崎のイチゴファンを増
やしてほしい」と激励しました。

組合員の集い 歌謡ショーなどを満喫

令和元年度「組合員の集い」を2月3日から6日までの4日間、カルッツかわさきで7公演行いました。

組合員の集いは、JAの事業報告と日頃の感謝の気持ち伝える催しとして毎年開催しているもので、全日程合わせて約1万人の組合員が訪れました。

当日は、ものまねショーや豪華賞品が当たる抽選会を実施した他、メインの歌謡ショーでは演歌歌手の藤あや子さんが登場。軽快なトークを交えながら「むらさき雨情」や「こころ酒」を歌い、透き通るような優しい歌声が会場全体を包み込み、来場者の心を癒やしました。



衣装も華やかな藤あや子さん

都市農業の 重要性を再認識

令和元年度第2回総代・組織リーダー研修会を2月12日、本店で開き、総代や各組織のリーダー、JA役職員ら424人が参加しました。

当日は、自民党都市農業研究会の会長などを務める衆議院議員の石原伸晃議員が「都市農業の現状と今後」と題し講演。自ら立法に携わった都市農業振興基本法施行までの経緯を丁寧に説明しました。石原議員は同法について「農地を『都市にあるべきもの』と明文化できたことは議会人として誇りに思っている。昨今の新たな法制度をご理解いただき、ぜひ皆さんの力で川崎の都市農業を活性化させてほしい」と参加者にエールを送りました。



法制度について語る石原議員

上野理事が 体験活動報告

JA神奈川県女性組織協議会は2月6日、JAグループ神奈川県ビルで女性部員のJA運営参画のための研修会を開きました。

当日は、女性理事からの体験報告として、当JAの上野拓子理事が登壇。自身のこれまでの活動を振り返りながら、女性部やJAへの思いなどを語りました。

上野理事は「役を受けることは大変かもしれないが、何でもやってみることが大切。これからもJAの一番の理解者であり、応援団でありたい」と素直な言葉で話し、会場からは大きな拍手が送られました。



真摯に伝える上野理事

玄米販売コーナーを リニューアル

セレサモス宮前店は3月1日、玄米販売コーナーをリニューアルオープンし、3日間限定の特売イベントを行いました。

同店玄米コーナーのリニューアルは今回が初めて。店内のPOPを一新した他、人員を増やして接客体制の強化をはかりました。さらに米の取り扱い銘柄を6つ増やし、合計14種類にすることで、さらに多くのお米の味を楽しんでもらえるようになりました。

また、同店では注文を受けてから精米するので、精米したてのお米のおいしさを味わっていただけます。

来店者は「精米したてのお米はとてもおいしい」と笑顔を見せていました。



お米を注文する来店者

地元議員らと意見を交わす

J Aと地元議員との意見交換会を2月12日、本店で開き、地元選出議員やJ A役職員の他、女性部や青壮年部の代表ら48人が参加しました。

当日は、都市農業の振興を目的に、農地と人との観点から見たJ Aの取り組みを説明。地元議員らと今後の市内農業の存続方を考える上での現状と課題を共有しました。

原修一組合長は、今年1月に市が実施した田園住居地域に関する生産者へのアンケートに触れ「J Aにも生産者にも唐突な話であり、大変困惑した。生産者の皆さまへの円滑な情報提供の



意見交換会の様子(2月12日)

ため、行政には縦割りでない部門間の連携と、J Aとの情報共有をお願いしたい」と要請。「川崎の都市農業を推進する会」の橋本勝幹事長は「意見を真摯に受け止め、議会としても生産者に寄り添った周知をするよう行政へ要請していく」と話しました。

また、2月20日には「神奈川県農業を推進する会」との意見交換会が、横浜市中区のロイヤルホールヨコハマで開かれ、当J Aからは梶稔副組合長が出席。県下J A役職員や県議会議員らと、市や県の農業情勢の他、環境や防災問題など幅広いテーマで活発に意見を交わしました。



意見を述べる梶副組合長(2月20日)

「いざ」という時の活用法を学ぶ

「家の光」のPRを目的とした「みんなの防災&減災講座」を2月25日、モスビーホールで開き、同誌購読者やJ A利用者30人が参加しました。

当日は、管理栄養士や防災士の資格を持つ今泉マユ子さんが講師を務め「家族を守る災害食」と題し講演。今泉さんは「災害が起こったら、ないものにこだわらず、あるものを活用することが大事」と災害時でも手軽に作るができる食事の他、日常の生活品がさま

ざまな事柄に応用できることを伝えました。



調理をしながら説明する今泉さん

残農薬577kgを回収

残農薬や空容器などの回収作業を2月12日、麻生区の黒川管農団地管理倉庫と高津区のアグリベースで行いました。

この回収作業は、J Aの環境に配慮した営農活動の奨励事業として行われているものです。今回は、2か所合わせて577kgを回収し、専門の処理業者に委託して適正に処理しました。

なお、来年度も残農薬などの回収作業は年2回行う予定です。



回収した残農薬などを計量する職員



万福寺を歩く

地域に親しまれる場所を訪ねる

万福寺

麻生区にある小田急線新百合ヶ丘駅の北側に位置し、区の総合庁舎や消防署、郵便局の他、川崎市アートセンターなどの公共・公益施設がある。住宅地やマンションなども多く立ち並んでいるが、里山保全として緑地や公園なども整備されている地域。

〈今回の街歩きの目安〉

場所	距離	時間
①→②	220m	3分
②→③	290m	4分
③→④	500m	7分
④→⑤	400m	5分



今回は小田急小田原線新百合ヶ丘駅で下車し、北口から街歩きへ出発します。
改札を出て、歩いていると人が集まる直売所が！のぞいてみると、たくさん旬の野菜が並んでいました。毎日多くの人が新鮮でおいしい野菜を買い求めに来るそうです。
直売所を後にし、街歩きを再開します。すると、おしゃれな飲食店を発見しました。お腹も空いたので、ランチタイムにします。店内は、木のぬくもりと白がベースになっており、使用する食材にもこだわっているとのこと。今回は地元でとれた新鮮野菜などを使ったランチをいただきました。店を後にし、街歩きを続けると「十二神社」と書かれた石碑のある神社に到着。境内の風景を眺めながら厳かな気持ちで参拝し

ました。
神社を後にして散歩を続けると、洋菓子店を見つけました。店内のショーケースにはおもしろいケーキがずらりと並び、こちらのお店では、4月頃から旬のフルーツの手作りシロップのかき氷が販売され、子どもから大人まで大人気だそうです。
次はどこへ行こうかなと考えていると、散歩中の方が「一日40本限定の食パンが売っているパン屋さんがあるよ」と教えてくれたので、早速向かってみます。
店に到着し、店内に入ると、パンの良い香りが、食パンと地元の卵を使ったサンドイッチをお土産に購入したところで今回の街歩きは終了。皆さんも、地域に根付く店やお気に入りの場所を探し、人々との交流を楽しんでみてはいかがでしょうか。

5 nichinichi

おいしいそう〜



人気のサンドイッチ

市内の養鶏場の卵をたっぷり使用し、和風だしと合わせただし巻き卵をふわふわの食パンでサンドした「黒川卵のだし巻きサンド」は、子どもから大人まで幅広い世代からおいしいと好評です。

市内産野菜たっぷり♪



新百合ヶ丘周辺の農家さんが育てた旬の新鮮野菜をトッピング。季節ごとに野菜が異なるので、四季を感じることで一品となっています。(写真の食材:ホウレンソウ、赤カブ、ニンジンなど)



「身体に優しく毎日食べてもおいしいパンを提供したい」との思いで、2016年にオープンしたパン屋さん。素材にこだわり、できる限り身体に優しい、安全な食材を使用しています。

店内に並び約50種類のパンやサンドイッチなどはすべて手作りで、使用している国産の小麦粉はパンに合わせてブレンドしています。小麦粉の他にも砂糖やバター、オーガニック食材などにもこだわり、カスタードやあんこ、カレーなどの具材は店で作られた自家製です。

所 麻生区万福寺4-8-4 ベルナ101号 営 平日 10:00~18:00 土曜日・日曜日・祝日 9:00~19:00 休 不定休

4月中旬頃から「かき氷」を販売します。イチゴやブルーベリー、桃などの季節のフルーツを使った手作りシロップは子どもから大人まで大人気です。



かき氷!?

2 Hacci8

人気のランチパスタセット



2016年にオープンし、地域の方に親しまれている飲食店。肉やパスタ、ピッツァなどの約80種類のメニューがそろっています。こだわりは、市場や地元農家さんから新鮮な食材を仕入れていることです。



サラダやドリンク付きのランチメニューはパスタやハンバーグ、お肉など約8種類あります。

店主おすすめ

自家製のお肉前菜盛り合わせはワインなどのお酒のつまみにもよく合います。



所 麻生区万福寺1-12-3 東亜新百合ヶ丘ビル105
営 ランチ 水・金・日 11:30~15:00(ラストオーダー 14:00)
 デイナー 日~木 17:00~23:00(ラストオーダー 22:00)
 金・土・祝前日 17:00~23:30(ラストオーダー 22:30)
休 第一月曜日

3 十二神社

宇気母智大神像



正徳元年(1711年)に創建。御祭神は宇気母智大神で、食物の神様として信仰されています。また、十二神社とは十二柱の神々という意味で、十二柱とは天神七代と地神五代からなり、生命の発展、伸長の源になる大神とされ、これらを祀っていることに社名の由来があるともいわれています。



所 麻生区万福寺3-2-3

1 新百合ヶ丘直売所(柿生野菜生産者直売会)



新鮮で安心・安全な市内産農産物が手に入ると、地域住民などから大人気の直売所。駅から近いこともあり、直売所はいつも多くの人でにぎわっています。店頭に立つ生産者との交流も楽しむことができます。

人気の新鮮野菜



夏はトマトやキュウリ、ナス、冬はダイコンやブロッコリーなどの野菜が人気です。

所 麻生区万福寺1-13-10 **営** 10:30~売り切れ次第終了 **休** 日曜日



4 パティスリーエチエンヌ

豊富な品ぞろえ



2011年8月にオープンした洋菓子店。全国各地の農家の方が栽培する食材やあまり世に広まっていない珍しい食材などを求めて、シェフ自ら直接農家へ出向き、フルーツなどの仕入れを行っています。



店内に並び約90種類のケーキやチョコレート、焼菓子はずべて手作りです。

所 麻生区万福寺6-7-13 マスターアリーナ新百合ヶ丘1F
営 10:00~19:00 **休** 月曜日(4月~) 月曜日・火曜日



私の好きなこと

使いやすさを極める カスタムナイフ



革のケースも手作り

40年ほど前、カスタムナイフの雑誌を見て、釣りで使いやすいナイフを自分で作ってみようと思い、ナイフ作りに挑戦しました。魚の鮮度を保つには、釣ってすぐに血抜きをする必要があります、ナイフは釣りに不可欠な道具。制作に必要なボール盤などの機械は中古で購入し、本を見て見よう見まねで完成させました。1つ作ると、想像以上に面白く、魚の種類に合わせてこれまでに制作したナイフは約50本。釣り仲間や猟師から依頼を受けて作ったこともあります。

ナイフ制作は、元となるステン



ナイフの材料と工具

レス鋼の板を切り出すところから、刃となる部分を鋭く削る作業、業者に焼き入れを依頼した後グリップを付けるところまで、工具を用いながらすべて手作業で行います。1本完成するのに約2週間かかり、完成したカスタムナイフは手によく馴染み、使い勝手のよさは抜群です。ナイフの形や大きさ、グリップ部分の素材にまでこだわって作っているのです、完成したときの達成感はひとしおです。

最近ナイフの制作は少し休んでいます。今後も自作のナイフを使って釣りを楽しみたいです。

PROFILE

川崎区池上新町
青山 勝さん

釣りの他、料理も趣味で、釣ってきた魚を自分でさばき、刺身や煮付け、ムニエルなどにして、家族と食べることも楽しみのひとつです。



ひゅうま HUMAN まん



地元の伝統芸能を守り継ぐ

宮前区初山 小金井 睦雄さん

神奈川県が無形民俗文化財に指定されている「初山獅子舞」に携わり65年ほどになります。所属する初山獅子舞保存会では3組の獅子頭を保存しており、一番古いものは江戸時代初期のものと推定されています。3種類の獅子頭と天狗の面をつけた「幣負い」の4人1組で地面を這うように低い姿勢で舞い、昔は農家の長男のみが舞子になることができ、昭和29年から4年間舞子を務めました。

小さい頃から獅子舞を見てはいたものの、実際に習い始めると苦労の連続でした。4人がそろわなければ練習ができず、始めはリズムをとる笛や歌を教わり、先輩が舞う細かい動きを覚えながら、1か月以上猛特訓。休みなく中腰の姿勢で同じ動作を繰り返し、少しずつ所作を習得していきました。体力的には大変でしたが、毎日練

習終了後にお茶当番の人たちが順番で振る舞ってくれる赤飯や煮しめを食べられるのが楽しみでした。こうして日々の練習を重ねながら4人の息を合わせていき、10月の菅生神社の例祭での奉納舞は無事に成功し、その後舞子を3年間続けました。引退時は寂しさを感じましたが、「親獅子」役として後進の育成に励み、順次世代交代が進んでからは、OBとして笛や舞の他、獅子舞当日に履くわらじづくりの指導を続けています。

時代の流れから、舞子は農家の長男以外でも初山地区に住んでいる持ち家の子なら務められるようになり、現在は保存会の会長代行として新たな舞子候補者の勧誘と育成に力を入れています。今後長い歴史のある地元の伝統芸能「初山獅子舞」を後世につないでいけるよう邁進していきます。

POWER 全開!

3年前、結婚と同時に夫が営む農業を手伝い始めました。現在は約2500羽の鶏の飼育と、約60坪の畑で定番野菜や湘南レッドを栽培。セシモスや市場へ出荷する他、自宅で直売しています。

手伝い始めた当時は、まだ会社員だったので、畑作業などはできませんでした。少しでも力になりたいと、休みの日に直売所で接客や品出しなどの仕事を手伝っていると、家族が手書きのノートで日々の売上を記録していることに気付きました。

他にも、山ほどある仕入れ伝票や出荷伝票などは、電卓を叩きながら一つ一つ集計している状況でした。



わが家のIT革命

何とかしてあげたいと、大学や会社で学んだデータ分析術やパソコン関係の資格も取得していた経験から、家族に経理作業の電子化を提案。快く了承してもらい、自ら中心となり準備を進めました。

早速ノートや伝票の情報を内容ごとにパソコンへ入力し、分かりやすい表やグラフを作成。また、古かったレジも新調することを進言し、より使いやすく、売り上げ情報も細かく記録できるものに変えました。

今では同じ卵の販売でも、日々の売り上げはもちろん、サイズやパックごとに詳細な販売状況を瞬時に把握。集めたデータを基に、家



高津区子母口 森真梨さん

族へ今後の出荷計画などをアドバイスできるようにになりました。

家族から「細かな事務から経営分析までしてくれてとても助かる。おかげで畑に出られる時間が増えて、前よりも目と手が行き届いた飼育と栽培ができるようになったよ」と喜ばれ、大きな成果を感じています。

今後は経営の法人化を見据え、今まで以上にさまざまな情報の整理を進めるとともに、SNSなども開設し、広報分野も強化したいです。直接の力にはなれなくても、長年地域で親しまれている卵と野菜づくりに一生懸命取り組む家族を、今後も全力でサポートしていきます。

Power's Voice

大好きな子どもたちに囲まれながら、にぎやかで楽しい毎日を過ごしています。わが家の新鮮な卵と野菜をたくさん食べて、早く大きくなってパパたちをお手伝いしてほしいです。



食 & 農

SHOKU & NOU

フキ

フキはキク科フキ属の多年草。数少ない日本原産の野菜で、全国の山野に自生する他、現在は愛知県で栽培される早生フキが食用の主流になっています。つぼみは「ふきのとう」として食用にされます。

フキは鮮度が大事です。収穫後時間とともにアクが強くなるため、購入後はなるべく早く下処理をしてアク抜きをしましょう。アク抜きした物は水に浸して食品保存容器などに入れ、冷蔵庫で保存します。水を時々交換すれば1週間ほどはおいしく食べられます。



フキと油揚げの煮物



材料(2人分)

- フキ……………200g
- 塩……………適量
- お湯……………1ℓ
- 油揚げ……………1枚
- ★水……………200ml
- ★白だし……………大さじ2
- ★みりん……………大さじ2
- ★砂糖……………小さじ1
- ★醤油……………小さじ1
- かつお節……………適量

作り方

- ① 葉を切り落としたフキに塩をまぶし、まな板の上で板ずりする。
- ② 鍋に湯を沸かし①を3～5分ほど茹でて冷水にとり、筋をとる。
- ③ ②を4cm幅に切り、油揚げは5mm幅に切る。
- ④ 鍋に★を煮立たせ、③を入れてひと煮たちしてきたら中火～弱火にして5～7分程度煮る。
- ⑤ ④を器に盛り、かつお節をのせたらできあがり。

フキは日本や中国、朝鮮半島に分布しており、古くから日本人になじみがありました。盛んに栽培されるようになったのは江戸時代以降です。食用するのは葉柄部分。アクがあるので、塩で板ずりをしてから茹で、水にさらして皮をむく下処理が必要です。独特の香りとほろ苦さを活かして、煮物やきんぴらの他、細いものは佃煮風に煮付けてもおいしく食べられます。天然物のフキの旬は3月から初夏にかけてですが、ハウス栽培されているものは1年中手に入ります。

日本や中国の古い民間療法で、葉や根の部分を煎じて風邪薬として服用したり、生の葉を切り傷や虫刺さ

れの外用薬として用いたりしたといわれます。

フキは90%が水分で低カロリー。ビタミン類は少ないですが、カリウムや食物繊維が豊富です。また、苦みや香りの成分であるクロロゲン酸やフキ特有のフキノール酸などのポリフェノールが多く含まれます。これらの成分は、動脈硬化などを引き起こすとされる活性酸素を除去する作用があるといわれています。

葉が枯れていたり変色しているもの、葉柄がしなり過ぎるものは鮮度が落ちているので、フキを選ぶときは、葉柄がきれいな淡緑色をしていて、全体的に張りがあり、ピンとしているものを選びましょう。



まだ泥だらけの マルチ剥ぎ してますか？

(生分解性マルチを活用しよう)



営農技術顧問 吉田 敏政

栽培終了後のマルチの片付けや廃棄処分が必要なく、畑にそのままうまい込める生分解性マルチ。最近の製品は質的に向上しており、全国的にも使用が拡大しています。

昨年、そ菜部橘支部で行ったモニター試験の結果をとりまとめたので紹介します。

1 実施生産者数 11人

2 製品名

- ・カエルーチ (0.018mm厚×95cm幅、黒) 無孔7人
- ・コーンマルチII (0.015mm厚×95cm幅、黒) 無孔1人
- ” 有孔(9230)3人

3 実施作目 9作目

(スイートコーン 4人、エダマメ 3人、トマト 2人、キュウリ 2人、ナス 2人、ピーマン 1人、インゲン 1人、ズッキーニ 1人、エンサイ 1人。重複あり)

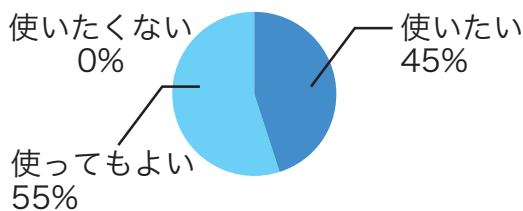
4 実施時期 2019年4月～11月

5 使用結果

- ・展張時、鋤き込み時の作業性 良:7人 可:4人 不可:0人
- ・作物の生育状況、収量性 良:4人 可:7人 不可:0人
- ・資材の強度、耐久性、保湿性 良:4人 可:7人 不可:0人
- ・雑草、病害虫の発生抑制 良:6人 可:5人 不可:0人



今後の使用見込み



(1)展張時、鋤き込み時の作業性

- 展張時、昔の生分解性マルチは展張後すぐ破れたが、今回利用した生分解性マルチはずっと良くなっており、慣行のポリマルチと作業性は変わらない。マルチャー利用でも問題ない。
- 鋤き込み時もロータリーへの巻き付きがなかった。トラクターのロータリー耕1回でキャベツを定植したが、問題はなかった。
- ▲ロータリー耕1回ではマルチ片が土壌表面に残るので、2回耕耘が必要だった。
- ▲ロータリー耕で鋤き込み後、地表面に出ているマルチの一部が風で飛散した。

(2)作物の生育状況、収量性

- 慣行ポリマルチと特に変わらなかった。

(3)資材の強度、耐久性、保湿性

- 特に問題はなかった。
- ▲果菜類の定植位置にカッターで直線状や三角状に切れ目を入れたところは、端から切れ目が広がった。その後大きく広がることはなかったが、植穴は丸く開けたほうがよい。
- ▲足で踏んでしまったり、物をのせてしまった部分、土壌表面の小石等で一部破れが生じた。
- ▲強い紫外線や急激な地温上昇などのせいかな原因は明らかでないが、同じ畑の中でもマルチの分解開始時期に違いが見られた例があった。

(5)今後の使用見込み

使いたくないという方は0%でした。栽培期間が長いナスやピーマンには不向きだが、スイートコーンやエダマメの他、キュウリ、トマトにも使ってみたいという声がありました。

まだ価格や有孔マルチの規格、ロット数、保管期間などに課題はありますが、今後の普及次第で改善が期待される点もあります。なお、JAセレサ川崎そ菜部や花卉部の部員は、川崎市環境保全型農業推進事業補助金制度の対象資材になっているので、各支店の営農指導担当にご相談ください。

農業登録内容の変更情報

◎オンコル粒剤5 (2月29日から変更) 〈モロヘイヤ〉登録削除 (使用できません)

※JAでは、本欄で執筆している営農技術顧問による営農相談コーナーを開いています。病害虫被害の場合は、被害作物をお持ちいただくと助かります。開催日は22ページをご参照ください。

〈営農技術顧問〉

	担当業務	出勤日
志村 隆	花き・植木栽培指導、病害虫全般	月・火・木・金
片木 新作	果樹栽培指導、病害虫全般	月・水・金
吉田 敏政	野菜栽培指導、病害虫全般	月・火・水・木
衣巻 巧	野菜栽培指導、病害虫全般	月・火・木・金

※記載日はあくまでも基本の出勤日。行事・休暇によっては顧問不在の場合有

緊急特集 新型コロナウイルス感染拡大～家族で確認したい3つのこと～

新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるっています。昨年中国で初めて確認されてから、2月末時点での感染者は世界中で約8万7千人、死者は約3千人に達し、日本国内でも学校の臨時休校やさまざまなレジャー施設などが休止しました。当JAにおいても、予定していた多くのイベントや会議が中止となるなど、現在も社会に大きな影響を与えています。今号では、未知のウイルスに対し、私たちにできることは何なのか、家族と共有してほしい3つのことを紹介します。

①手洗い・咳エチケットの励行

風邪予防の原点に立ち返り、基本を徹底しましょう。

②健康は日々の生活から

家族と日頃の食生活や生活リズムを見直し、しっかりとした栄養と睡眠で、免疫力を高めましょう。

③情報の価値判断は自分で

一連の騒動では、インターネットなどを中心に、噂が噂を呼び不要な買い占めの横行や外国人に対する差別の助長など、感染症の問題だけではない人間の恐ろしさも表面化しました。大小さまざまな情報にあふれる現代社会の中で、自分はどう考え、何をすべきなのかを判断していくことが大切です。



厚生労働省では、分かりやすいイラストや、人気漫画とのコラボで周知拡大をはかっています。
(厚生労働省資料・首相官邸より) ©諫山創・講談社/「進撃の巨人」製作委員会

最後に、行政のホームページの一部をご紹介します。ぜひご自身でご覧いただき、大切な家族と自分の健康を守りましょう。

厚生労働省ホームページ
<https://www.mhlw.go.jp/>



川崎市ホームページ
<http://www.city.kawasaki.jp/>



4月の運勢 モナ・カサンドラ

♈ おひつじ座 3/21~4/19

【全体運】好調運です。順序立てて物事を進めると困難と思っていたことも解決へ。満足のいく結果を得られるでしょう
【健康運】友人とスポーツを楽しむのに最適です
【幸運の食べ物】アスタバ

♉ おうし座 4/20~5/20

【全体運】緩やかな上昇運です。丁寧な作業が実りをもたらします。問題が起きても、慌てず対処すればうまくいくはず
【健康運】ストレスをためがち。発散を心掛けて
【幸運の食べ物】レタス

♊ ふたご座 5/21~6/21

【全体運】交友関係が活発化し盛り上がり。縁談は自分で進めるのも人に勤めるのも吉。仲人を引き受けるのも招運に
【健康運】体力増進のチャンス到来。新しい運動を
【幸運の食べ物】アスパラガス

♋ かに座 6/22~7/22

【全体運】前半はもたつきが感じられるものの後半は回復へ。大事なことはじっくり構え、下旬から始動するのが良い選択
【健康運】持病のケアが重要。血の巡りを良くして
【幸運の食べ物】新ジャガイモ

♌ しし座 7/23~8/22

【全体運】運気は大きく盛り上がり動きが激しいときです。善は急げ、早めの行動が吉。下旬からは守りに回って正解
【健康運】頑張りが利きますが、休養も忘れずに
【幸運の食べ物】エビ

♍ おとめ座 8/23~9/22

【全体運】運勢は回復傾向。年上の人の話に耳を傾けて。相手の意見を受け入れる余裕が幸運をもたらします。早寝にツキ
【健康運】神経質にならないで。美味な緑茶が味方
【幸運の食べ物】タケノコ

♎ てんびん座 9/23~10/23

【全体運】楽しい席にお呼ばれるするなど心弾むことが増えそう。人の輪に積極的に入って行って。うれしい発見があるはず
【健康運】回復、改善へ。名医に出会える予感も
【幸運の食べ物】イカ

♏ さそり座 10/24~11/22

【全体運】心配事が増えそう。気になるなら、まずは事実確認から。状況をきちんと把握することが改善へとつながります
【健康運】悪いところは放置しないで早めに受診を
【幸運の食べ物】ソラメ

♐ いて座 11/23~12/21

【全体運】活気のある運気です。歓迎会の幹事などを引き受けると招福につながります。面倒見の良さを発揮して人気者に
【健康運】チームで楽しめるスポーツにツキあり
【幸運の食べ物】アサリ

♑ やぎ座 12/22~1/19

【全体運】しまったと思ったら一度立ち止まって考えましょう。運気は下旬から上昇。後から駆け付けた方が吉と出ます
【健康運】食べ過ぎたらいつもより体を動かして
【幸運の食べ物】ゼンマイ

♒ みずがめ座 1/20~2/18

【全体運】パワフルな期間ですが、やり過ぎが気になります。押すだけでなく少し引き、人の意見を聞いて。発展性が拡大
【健康運】筋力アップの好機ですが、けがには注意
【幸運の食べ物】キヌサヤ

♓ うお座 2/19~3/20

【全体運】高め安定運ですが、お金の管理は注意が必要。計画的に使うようにしてください。約束、契約事は後半ほど◎
【健康運】音楽に合わせて体を動かす体操が◎
【幸運の食べ物】トマト



mail box
読者からの
おたより

4年越しのパイナップル!?

麻生区向原の小島俊雄さんのビニールハウスで4年越しにパイナップルが実りました。JAの千代ヶ丘支店に飾られ、甘い香りを漂わせていました。



新鮮な農産物を求めて

セレスモスで野菜や果物、花を買っています。全部が新鮮で、とてもうれしいです。(多摩区・正地さん)

楽しいコーナー

川崎探検隊に載っていた和菓子屋で機関誌をもらいました。地元「上平間」が紹介されていて、楽しかったです。(幸区・河村さん)

参考になります

機関誌は農業について学ぶことができますので、しっかり読んでいます。これからもおもしろくて、新鮮な野菜を楽しみにしています。(中原区・江田さん)

期待しています

特集の「新春座談会」を読み、若手農業者の皆さまには頑張ってもらいたいですね。私たち消費者も直売所での買い物を楽しみにしています。(宮前区・柴田さん)

感動しました

特集を読み、若い人たちが農業に取り組む中でさまざまなアイデアを活用し、農産物を育てている強い熱意に感動しました。(川崎市・陶山さん)

頭の体操

毎号、クロスワードパズルで脳トレをしています。クイズのヒントの絵も楽しみで、答えが分からない時の参考にもなっています。(多摩区・伊藤さん)

作ってみたい!

DISH UP!で紹介されていた「自家製ツナふりかけ」がとてもおいしそうでした。今度、作ってみようと思います。(幸区・菱沼さん)

これからも楽しみにしています

先日、大師支店で農産物の直売が行われていました。新鮮でおいしい野菜を買うことができ、うれしかったです。次回が待ち遠しいです。(川崎市・田中さん)

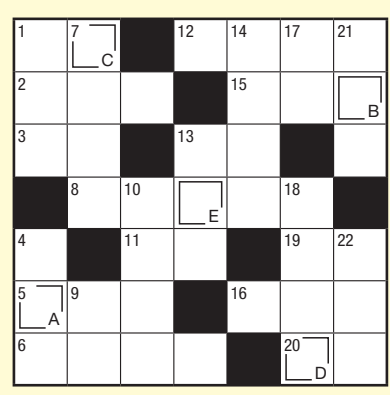
おいしい農産物に感謝

いつも新鮮な野菜や果物などを購入しています。ありがとうございます。(麻生区・藤野さん)

投稿のお礼

たくさんのお便りありがとうございます。これからも「感想お待ちしております」。(JA広報課)

クロスワードパズル

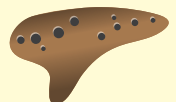
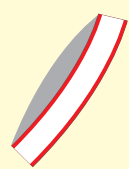


1月のこたえ



ヨコのカギ

- ①冬が終わるとやってくる
- ②羊やアルパカの毛のこと
- ③スナップエンドウの下処理の際に取る物
- ④掃き掃除をするときに使います
- ⑤欲しかった商品が○○になっちゃった……残念
- ⑥瞬間○○の蛇口から熱湯をくんだ
- ⑦契約書や伝票に押します
- ⑧ハトの形をした笛
- ⑨輪○○、消し○○、○○手袋
- ⑩物の重さのこと
- ⑪選挙の立候補者が肩から掛けます
- ⑫木がたくさん生い茂っている所
- ⑬患者を診察する人



タテのカギ

- ①ビニール○○の中で作物を育てた
- ②ピッツ、ピッツ、ピッツ、ポーン
- ③口紅を片仮名言葉でいうと
- ④メロンやズッキーニもこの仲間
- ⑤ハワイの代表的なビーチリゾート。ダイヤモンドヘッドが見えます
- ⑥視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚のこと
- ⑦臭い、ため嫌われやすい昆虫
- ⑧国語、数学、○○、社会
- ⑨ウナギの内臓を使って作る汁物
- ⑩菜の花の咲く頃に降る○○梅雨
- ⑪土俵の上で戦います



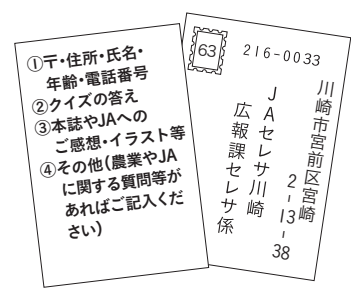
◆ 応募方法 ◆

このコーナーでは身近な出来事など、皆さまからのお便りをお待ちしております。お便りをいただいた方およびクロスワードパズルにお答えいただいた方の中から抽選で5人の方に、セレスモス等で使える全国農協商品券1,000円分をプレゼントします。応募方法は郵送(右記を参照)またはWebサイト(<https://www.jaceresa.or.jp/contact/quiz.html>またはQRコード読み取り)より。

なお、写真の掲載を希望される方は、プリントを封書、またはメール(info@jaceresa.or.jp)にご送付ください。

※匿名を希望される場合は、必ずペンネームをお書き添え(Webサイトの場合はその他欄に入力)ください。

※個人情報保護法に基づき、応募された方の個人情報は賞品発送以外には使用しません。



Webサイトからの応募はこちらから
<https://www.jaceresa.or.jp/contact/quiz.html>



お寄せいただいた感想イラスト等は本誌に掲載することがあります。

広報モニターになりませんか

令和2年度の広報モニターを下記要領で募集します

- 【資格】 市内在住の成人の方で、JAの事業や広報活動に関心のある方(令和3年3月末まで継続して川崎市内在住が見込まれる方)
 - 【公募人数】 30人(応募者多数の場合選考)
 - 【任務】 JAの事業や広報活動に対する意見や情報提供。アンケートの提出と広報モニター会議への出席など。
 - 【任期】 令和2年5月20日(水)～令和3年3月31日(水)
 - 【謝礼】 QUOカード5,000円分(任期満了時にお渡しします)
 - 【締切】 令和2年5月7日(木)必着
 - 【申込方法】 ハガキまたはFAX・メール・ホームページにて郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・応募動機を明記。
 - 【宛先】 JAセレサ川崎広報課
〒216-0033 川崎市宮前区宮崎2-13-38
FAX 044-877-2211
メール info@jaceresa.or.jp
- モニター専用応募ページ
<https://www.jaceresa.or.jp/contact/monitor.html>
◀応募専用ページQRコード



お問い合わせ TEL 044-877-2964(平日8:30～17:00)まで
※注意 電話での応募は受付しておりませんのでご了承ください。

セレサ不動産営業所 営業時間・定休日変更のご案内

令和2年4月1日(水)より、セレサ不動産営業所の営業日・営業時間を下記の通り変更させていただきます。

- 【営業時間】 平日 9:00～17:30
- 【定休日】 土・日・祝日、夏季休業・年末年始 他

特殊詐欺被害の未然防止に向けた取り組みについて

警察庁等からの特殊詐欺被害の未然防止に向けた取り組み要請を踏まえ、令和元年11月末時点において**満70歳以上の個人のお客さま**につきまして、JAバンクキャッシュカードを利用した1日あたりの「ご出金・お振替・お振込の合計金額」を一律30万円に制限させていただきます。
※令和2年4月22日(水)より

詳しくはホームページをご確認いただくか、お近くの支店までお問い合わせください。

五嶋さん、樋山さんが園芸功労賞を受賞

令和元年度園芸功労表彰において、果樹部門で五嶋敏充さん、園芸部門で樋山満さんがそれぞれ園芸功労賞を受賞しました。おめでとうございます。



五嶋 敏充さん



樋山 満さん

本誌2月号(No.269)記載内容の訂正とお詫び

本誌2月号21頁「晴れの入賞者」の記事の中で、入賞者の氏名に誤りがございました。

お詫びして下記の通り訂正いたします。

〈正誤表〉 敬称略()内住所

令和元年度手作り加工品品評会 1月16日 モスビーホール

誤	トマトジャム	柏木 千壽子 (千年)
正	トマトジャム	柏木 智壽子 (千年)

教えてJA!

Q&A 広場

農業やJAに関する
身近な疑問等をお寄せください



Q 最近話題の「iDeCo」と「つみたてNISA」どちらを選べばいいの?

ありがとう。
参考になりました。



A 個人の長期資産形成を後押しするため、国は有利な税制を用意しています。それが「iDeCo(個人型確定拠出年金)」と「つみたてNISA(少額投資非課税制度)」です。どちらも投資信託を利用して積立投資するのが基本です。2つに共通するメリットは運用益に税金がかからないことです。通常の口座では利益に対して約2割の税金がかかりますが、「iDeCo」と「つみたてNISA」の口座で投資したものについては売却益も分配金も非課税になります。

併用も可能ですが、老後の準備なら「iDeCo」、他に目的があれば「つみたてNISA」がいいと思います。例えば、教育費や住宅購入費のための資産運用であれば、資金の引き出しがいつでも可能な「つみたてNISA」を利用した方がいいでしょう。老後資金の準備のために制度を利用するのであれば、積み立てている間の節税効果が高い「iDeCo」で無理のない範囲で積み立てし、余裕があれば「つみたてNISA」で運用してみてもいいかもしれません。

JAでは「iDeCo」と「つみたてNISA」の両方を取り扱っていますので、詳しい手続きや必要書類はお近くの窓口へお問い合わせください。



【報告事項】

- 令和2年度新茶特別予約販売
期 間：令和2年2月1日(土)～6月30日(火)
目 標：<数量>4,800kg
<金額>3,120万円
取扱商品：Aコープ茶、足柄茶
- 令和2年度JAバンク食農教育応援事業における小学生向け教材本の贈呈
補助教材内容：JAバンク補助教材「農業とわたしたちの暮らし」
教材本(通常版・特別支援教育版)
DVD(通常版教材本の内容補完)
対象小学校数：市内小学校 118校
- 第23回JAセレサ川崎組合長杯チャリティーゴルフ大会
日程・地区：5月19日(火)橘・高津・稲田・菅・生田・柿生
6月 2日(火)宮前・向丘・川崎南・中原・日吉
場 所：厚木国際カントリー倶楽部

- 令和2年度女性部統一旅行
行 き 先：女性の大好き満載！山形2泊3日
日程・支部：1班：5月25日(月)～27日(水)
支部：日吉・橘・菅・生田
2班：5月26日(火)～28日(木)
支部：川崎南・中原・宮前・高津
3班：5月27日(水)～29日(金)
支部：向丘・稲田・柿生
募集人数：各班60人
- 令和3年度JAセレサ川崎海外旅行
名 称：感動の大自然と癒しのリゾート
ハワイ島&ホノルル 6日間の旅
旅 行 先：ハワイ
日 程：令和3年8月～10月(予定) 4泊6日
募集期間：令和2年3月中旬～5月下旬(予定)
募集目標人数：600人

他18項目を報告

【協議事項】

- 第23回通常総代会に係わる日程について
日 程：令和2年6月23日(火) 13:30
場 所：セレサホール飛翔

他5項目を協議決定

セレサのDATA (2月29日現在)

購買品供給高	9億46百万円
販売品取扱高	10億52百万円
施設事業契約高	41億79百万円
貯金	1兆5,301億円
貸出金	5,438億円
長期共済保有高	1兆7,019億円
年金共済保有高	338億円
組合員数	68,504人
うち正組合員	5,404人
准組合員	63,100人

4月の営農相談コーナー

- 経済センター(宮前区有馬2-13-1)
3日(金)、8日(水)、15日(水)、17日(金)、
22日(水)
- パーシモン(麻生区片平2-30-15)
2日(木)、7日(火)、9日(木)、16日(木)、
23日(木)、28日(火)
- 時 間 9:00～16:00
- 相談員 JAの営農技術顧問
- その他 予約は不要です。

4月の年金無料相談会

- 15日(水) 栗平支店
 - 16日(木) 菅生支店
 - 21日(火) 野川支店
 - 23日(木) 向丘支店
- 開催支店または下記ホームページから
ご予約のうえ、ご来場ください。
◇年金・社会保険セミナー
26日(日) 10:00～12:00 みなみ支店
14:00～16:00 小杉支店
参加ご希望の方は金融推進部
(TEL 044-877-2140)までご連絡ください。

4月のセレササロン

- 2日(木) 中原支店
 - 8日(水) 高津支店
 - 15日(水) 生田支店
 - 内 容 パステルシャインアート
 - 会 費 1,200円
 - 対 象 おおむね60歳以上の方
- お問い合わせ・お申し込み
本店生活福祉課(TEL 044-877-2509)

4月の施設相談会

- 14日(火) セレサ不動産本社
受付時間 13:00～15:00
 - 25日(土) 稲田支店
 - 26日(日) 橘支店、みなみ支店、
東柿生支店
受付時間 9:00～11:00
- 相談時間は原則1時間程度。予約制。
ご予約は相談会の前々営業日16:00
までに各会場支店まで、セレサ不動産
はセレサ不動産本社まで。
お問い合わせ
本店資産相談課(TEL 044-877-2509)
セレサ不動産本社(TEL 044-870-6711)
ご予約がない場合は開催いたしません。

4月の休日住宅ローン相談会

- 25日(土) 小田支店、鹿島田支店、
小杉支店、宿河原支店、
野川支店、宮前平支店、
上作延支店、稲田支店、
千代ヶ丘支店、栗平支店
 - 26日(日) みなみ支店、小向支店、
新城支店、久地駅前支店、
橘支店、鷺沼支店、
菅生支店、生田支店、
東柿生支店
- 開催支店または下記ホームページから
ご予約のうえ、ご来場ください。
ご予約がない方はお待ちいただくことが
ございます。※時間は9:00～15:00

営業時間のご案内

- 支店窓口 平日9:00～15:00
- ATM 8:00～21:00
※住吉支店はエレベーター設置工事
に伴い、ATMの取扱い時間の変更
および休止をさせていただきます。
期間：令和2年2月1日(土)～7月中旬頃
平日 8:30～17:00
土・日・祝日 終日休止
(セレサモス麻生店はローソン銀行の
ATMで、同店の営業時間内のみ稼働)
- 経済センター、パーシモン
平日・土・日9:00～16:30※祝日は休み
- セレサモス麻生店
< 4月～10月 > 10:00～18:00
< 11月～ 3月 > 10:00～17:00
- セレサモス宮前店
< 通年 > 10:00～18:00
※渋滞緩和のため開店時間を早める
場合があります。
(定休日：水曜日・年末年始)

セレササービスのご案内

セレササービス(株)は、ご葬儀ご法
事など、信頼と安心・安全をモットーに
まごころを込めてご奉仕いたします。
提携式場として、「中野島ほうさい殿」
も、ご利用いただけます。
事前相談や見積もり等承っております。
お気軽にお問い合わせください。
(日・祝日除く 9:00～17:00)

フリーダイヤルみおくる こころ
0120-3096-56
危険のご連絡は24時間・年中無休
<http://ceresa-service.jp>

4月の経営相談会(法律経営)

- 7日(火) 9:30～11:30 向丘支店
13:30～15:30 中原支店
 - 14日(火) 13:30～15:30 みなみ支店
13:30～15:30 柿生支店
 - 21日(火) 9:30～11:30 橘支店
13:30～15:30 中原支店
 - 25日(土) 9:30～11:30 梶ヶ谷ビル
- 相談時間は原則30分程度。予約制。
ご予約は相談会の前営業日16:00までに
各会場支店の総合相談担当まで。
(梶ヶ谷ビルは本店資産相談課まで)
本店資産相談課(TEL 044-877-2509)
ご予約がない場合は開催いたしません。





川野 昇さん



- ①宮前区有馬
- ②宮前店
- ③ジャガイモ・ダイコン・ブロッコリーなど

出荷者のコメント

50㎡ほどの畑で年間約10品目の野菜を作っています。ホクホクでおいしいと評判のジャガイモは、品種を変えて夏と冬に出荷しています。就農25年の経験を活かしておいしい野菜を作り、消費者の皆さんに食べてもらいたいという思いで、日々農作業に励んでいます。

越畑 政治さん



- ①麻生区黒川
- ②麻生店
- ③トマト・ハクサイ・キウイモ・シャクヤクなど

出荷者のコメント

「自分が食べておいしいと思う農産物を作りたい」との思いで、定番野菜や自分の興味のある農産物など、年間を通じて20品目ほどの野菜や花などを栽培しています。これからは農業を楽しみながら、さまざまな農産物を出荷しますので、ぜひ一度ご賞味ください。

宮田 幸治さん



- ①麻生区金程
- ②麻生店
- ③極早生タマネギ・エダマメ・トマトなど

出荷者のコメント

35㎡ほどの畑とハウスで年間約30品目の野菜を栽培。「消費者に高品質でおいしい農産物を届けたい」との思いで、栽培管理に取り組んでいます。3月下旬からはタマネギ、5月頃からはエダマメとトマトを出荷しますので、ぜひ味わってみてください。

西澤 達男さん



- ①高津区蟹ヶ谷
- ②宮前店
- ③タケノコ・ミカン・栗など

出荷者のコメント

ミカンをメインに果樹類を栽培しています。品質の良い物を作るため、定期的に講習会へ参加して栽培技術の向上に努めています。これからはブラッドオレンジやスイートスプリングなどの柑橘類の他、キウイフルーツの栽培にも挑戦していきたいです。

①住所 ②出荷店舗 ③主な出荷品目

セレサモスからのお知らせ



セレサモス麻生店

3月下旬以降、タケノコやのらぼう菜が多く出荷される予定です。

タケノコは収穫後、時間とともにアクが出て苦みやえぐみが強くなるので、購入後できるだけ早く下茹でしましょう。川崎市内産のとれたての新鮮なタケノコをぜひお買い求めください。

皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

所在地：川崎市麻生区黒川172

T E L : 044-989-5311

営業時間：〈11月～3月〉10:00～17:00

：〈4月～10月〉10:00～18:00

※渋滞緩和のため開店時間を早める場合があります。

定休日：毎週水曜日、年末年始

4月の出張販売

- 2日(木) 11:00～小向支店
- 9日(木) 11:00～大島支店
- 16日(木) 11:00～みなみ支店
- 23日(木) 11:00～御幸支店

お米の日

【麻生店・宮前店】
毎週金・土・日曜日は、1銘柄を2割引で販売いたします。
※割引制度については、予告なく変更する場合があります。

☆セレサモスの駐車場について
警察署からの要請により、路上での入場待ちは一切できません。

セレサモス宮前店

3月下旬以降、キャベツやタケノコが多く出荷される予定です。

春キャベツは、冬キャベツと比べて葉の緑色が濃く、柔らかくて甘みが強いのが特徴です。水分も多いので、生でも加熱料理でもおいしく食べられ、あらゆる料理に向いています。

皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

所在地：川崎市宮前区宮崎2-1-4

T E L : 044-853-5011

営業時間：〈3月〉10:00～17:00

〈通年〉10:00～18:00

※渋滞緩和のため開店時間を早める場合があります。

定休日：毎週水曜日、年末年始

セレサモス営業時間に変更となる場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。



材料 (2~3人分)

- ・タマネギ…中1個
- ・ニンジン…1本
- ・ジャガイモ…小3個
- ・サラダ油…適量
- ・塩…適量
- ・コショウ…適量
- ・合い挽き肉…250g
- ・卵…4~5個

わが家のオムレツ

作り方

- ① タマネギとニンジン、ジャガイモを1cm幅の角切りにする。



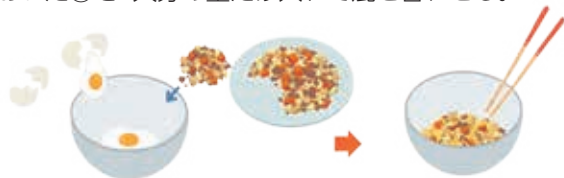
- ② フライパンにサラダ油を熱し、①を炒め、塩とコショウで味を調える。



- ③ 野菜が柔らかくなったら挽き肉を入れ、炒める。炒め終わったら皿に移し、具を冷ましておく。



- ④ ボールに卵2個を割って混ぜ、その中に冷ましておいた③を1人分の量だけ入れて混ぜ合わせる。



- ⑤ フライパンにサラダ油を熱し、④を流し入れ、蓋をする。卵が固まり片面に色がついたら二つ折りにする。



- ⑥ 皿に⑤を移し、ケチャップをかけたら、できあがり。



ワンポイントアドバイス



幸区南加瀬 石井 房子さん

卵を二つ折りにする際は、焼き過ぎると、ふわっとならず折れ目に亀裂が入ってしまうので、半熟ぐらいが目安です。④の工程で卵と野菜をボールに全部入れて作ると、パーティー用などの大きいオムレツも作れます。冷めてもおいしいので、お弁当のおかずにもおすすめ。大きさや具材を変えても楽しめますので、ぜひ地場産野菜をたくさん使ったおいしいオムレツを作ってみてください。